

令和4年度 学カスタンダード指導計画・報告書

教科：(数学)科目：(数学Ⅱ) 対象：(第2学年A組～F組)

科目担当者：

| | |
|----------------|--|
| 教科・科目の 指導目標 | 学カスタンダードに基づき、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を図るとともに、文章問題から題意を読み取る力の育成、自らの考えを理論的に順序正しく記述できる力など、思考力・判断力・表現力等の育成に重点を置いた指導を行う。 |
|----------------|--|

| | 高校入試等の分析結果・前年度の学力調査分析結果 | 分析結果を踏まえて検討した指導内容 | 指導体制の確立 |
|------|---|--|---|
| 年度当初 | 学力調査に該当するテストの結果 ① (数と式) 65.0% ② (2次関数) 50.0% ③ (図形の計量) 45.0% ④ (データの分析) 64.0% 公式の利用などの基礎的・基本的事項に関しての正答率は高かった。また、図形の軽量に関しては、他の単元に比べ正答率は高くはなかった。 | α ・ β の講座に分けて、習熟度別授業を実施する。各単元において、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図るとともに、それらを活用する態度を育成する。 [α 講座の到達目標] 教科書傍用問題集B・応用問題レベルの問題の正答率70%以上。 [β 講座の到達目標] 教科書傍用問題集A・B問題レベルの問題の正答率70%以上。 | 1. 年間指導計画の作成 すべての単元を学習することを目標とする。 2. 授業実施形態 2クラス3展開の習熟度別授業を実施する。 3. 授業への取り組みの改善 共通テストの実施により、進捗等の情報を共有する。課題提出等を実施し、授業内容の確認・改善を行う。 4. 計画的な課題テストの実施 長期休業中に課題を実施し、知識の定着を確認するために課題テストを行う。 5. 長期休業中や学期中に成績不良者に対する補講を行う。 |

| | 生徒の変容 | 生徒の学力の定着状況 | 次年度に向けた指導体制の改善 |
|-----|-------|------------|----------------|
| 年度末 | | | |